

今治明德高等学校

平成二十一年度 学力検査 国語問題 矢田分校一般入試

*解答は、すべて別紙解答用紙の該当欄に記入しなさい。

受験番号

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、設問の都合上省略した箇所があります。

なにかとしがらみの多い社会において、自由にモノをいえることは、それ自体が価値あることとっていい。しかしながら、誰でも自由にモノがいえるということは、誰に何をいわれるかわからない、ということでもある。いろいろな人がいろいろなことをいえば、聞きたくないことまで耳に入ってくるだろう。

インターネットの交流の世界を評価する表現のひとつに、「開かれた世界」というものがある。接続手段さえあれば誰でも参加できる状態を指したものだ。(中略)

他方、階層を超えたコミュニケーションを実現できることをもって、「開かれた世界」と評することもある。

一 組織運営に電子メールを導入することで、タテ割りの組織構造を超えたコミュニケーションをうながし、地位の垣根を相対的に低くしたという事例が、しばしば雑誌や新聞に取り上げられてきた。(A)

消費者の反応がじかにわかるようになれば、企業も迅速に対応できるかもしれない。そういう動機から、WWWやパソコン通信、メールリングリストなどを使い、「種のユーザー・グループを形成する企業がある。テレビ局や出版社も「メディア・ミックス」——ネットワークを視聴者あるいは読者との交流の場として利用すること——を進めるところがあった。

自分の意見が思うように伝わらないらだちを持っていた消費者にとって、しかるべき立場の者に直結したシステムは、じつに風通しのいい道具であろう。意志決定の権限を持つ者にとっても、現場のナマの情報を吸収でき、必要な情報を瞬時に獲得するという利点を感じとれるだろう。(B)

しかし、風通しのよいシステムでは、ノイズも含まれたすべての情報の流通がうながされる。ネットワークの評価ではおおむね発信する側の論理が注目されがちだが、「聞く」立場、「言われる」立場に立てば、ネットワークは凶器ともなりうるのである。

(C) 「開かれた世界」に二通りのニュアンスがあるろうとも、いずれの場合もコミュニケーションの障壁がさかれて低いことを評価する点は共通している。そういう状況でみずからの存在を明かすことで、プラス面・マイナス面両方の効果が生じうる。

盛んにメッセージを発するひとが潜伏的に注目され、なにかのきっかけでその人たちと発散的な関係に進展する例はめずらしくない。たとえば出版関係者が多く集まる「場」でコラムのような内容をつれづれに書き綴っていた人が、II そこに所合わせた編集者の目にとまり、単行本を刊行するに至る例がある。

どのようなチャンスであっても、むこうから勝手に訪れて来るわけではない。なんらかの形でみずからの存在を露出し、それを目をとめてくれる人がいてはじめてチャンスに出会えるのである。「犬も歩けば棒に当たる」のではなく、「歩かない犬は棒にも当たらない」というのがネットワークの取柄である。(D)

しかし、姿をさらすことで、「標的」にされる可能性も発生する。電話や手紙にさまざまないたずら、いやがらせがあるように、電子メールにも「SPAM」「メール爆弾」といった攻撃がある。前者は意味のない長文のメールを不特定多数の人に送りつけること、後者は一度に何万通ものメールを送り、サーバーを一時的にパンクさせてしまうことである。もちろん、ネットワーク利用者すべてがそういう行為におよぶわけではない。(E)

他方、ある程度ネットワークを利用していると、いろいろな団体からダイレクト・メール(DM)が届くようになる。ネットワークの商業利用が進んでいるアメリカでは、ほんの数日、メール・ボックスにアクセスしないと、さまざまなDMが何十通、

時には何百通もたまってしまう。(中略)

電子メールは業者側にとっても便利な道具なのである。インターネットのニュースグループ、Webも掲示板、パソコン通信のSIGを動れば、ある分野に興味のある人を自然と絞り込める。そうした場に潜伏すれば、そこにメッセージを残した者のメールアドレスを手でできる。電話とちがって、いきなり切られることもない。こうした業者側には、メールアドレスを売り込むグループも複数存在している。

「開かれた世界」では、III コミュニケーションの制度的な障壁は低い。それによって多様なコミュニケーションが推進されることになるのだが、「多様」の中身は各利用者にとってけっして好都合なことばかりではないのだ。

(江下雅之「ネットワーク社会の深層構造——「薄口」の人間関係」による)

(注1) しがらみ……まとわりついてじゃまをするもの。

(注2) 企業……会社のこと。

(注3) WWW……World Wide Webの略。インターネット情報サービス(システム)。

(注4) SIG……同じ趣味を持つ人たちが集まって情報を交換しあう場。

問1 I II III に入る最も適切な語句を、次のア～カの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア あるいは イ たしかに ウ たとえば エ そして オ たとえ カ たまたま

問2 本文には次の一文が抜けています。どこに入れたらいいですか。本文中の(A)～(E)の記号で答えなさい。

「開かれた世界」というのは、同時に「防護堤なき世界」でもあるのだ。

問3 —— 線「られる」と文法的に同じ用法のものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 駅から私の家までは、五分もあれば来られる。
- イ この音楽を聴くと、子實の頃が思い出される。
- ウ 自転車が本道に止められているので困っている。
- エ 今年の学園祭には、多くの方が来られる。
- オ 一度に多くの人に来られると困る。

問4 —— 線①「風通しのいい」とありますが、それはどのような意味で使われていますか。本文中の語句を二十字以内で抜き出し、解答欄に合うように答えなさい。

問5 —— 線②「いずれの場合も」とありますが、その説明として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア「開かれた世界」が、風通しのよいシステムを意味するにせよ、攻撃にさらされることにもなりうるシステムを意味するにせよ。

イ「開かれた世界」が、誰でも無制限に参加できる世界であるにせよ、そのメンバーを事実上限定したものであるにせよ。

ウ「開かれた世界」が、発信する側にとって開放された空間であるにせよ、受信する側にとって警戒すべき空間であるにせよ。

エ「開かれた世界」が、参加者を制限しないことを意味するにせよ、階層を超えて交流できることを意味するにせよ。

オ「開かれた世界」が、タテ割りの組織構造を低くしたにせよ、ノイズを含めた全ての情報の流通がうながされているにせよ。

せよ。

問6 —— 線③「出版関係者が多く集まる(場)」とありますが、「場」に「()」が付されている理由として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 特定の専門家や興味のある人だけが集まる特別な空間であることを強調しているから。

イ「場」というものが現実の空間ではなく、ネットワーク上の仮想空間であるから。

ウ ネットワークの「開かれた世界」に対して、この「場」が閉ざされている感じがするから。

エ 関係者のみでなく「潜伏者」の存在もありうるようなとても危険な空間であるから。

オ 利用者にとっては風通しのいい「場」であると同時に固密となりうる「場」であるから。

問7 —— 線④「犬も歩けば棒に当たらぬ」とありますが、このことわざの本文における意味の説明として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 用もないのに出歩くと思わぬ怪我をする。

イ 用があってもむやみに出歩くべきではない。

ウ 世の中は危険なことが多いので注意が必要である。

エ 立派な人について行くと必ず良いことが起こる。

オ 自分から積極的に行動すると良いことに気づく。

問8 —— 線⑤「歩かない犬は棒にも当たらない」とありますが、その説明として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ネットワークの世界に参加しても自分という存在をさらさなければ、その世界でチャンスに出会うことは期待できないということ。

イ ネットワークの世界で自らをさらすことさえしなければ、いたずらやいやがらせなどの標的にされることもないということ。

ウ ネットワークの世界に参加しても自らをさらさなければ、必ず何らかのチャンスに遇い合えるだろうということ。

エ ネットワークの世界に参加しないことによって、その世界の意思と意思の両面から無縁でいられるということ。

オ ネットワークの世界に参加さえしていれば、足を縛りにしてチャンスを探し回る必要はないだろうということ。

問9 本文の内容に合致するものを、次のア～カの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア ネットワークによるコミュニケーションでは、もともとあった階層差が完全に解消されることによって、風通しのよいシステムを実現している。

イ 企業と消費者の双方にとって肯定的なきっかけとなりうる可能性を持つというネットワークの本質が、十分にいかされなければならない。

ウ ネットワークによるコミュニケーションでは、障壁はきわめて低いが、その一方で委をさらすことで攻撃される可能性も発生する。

エ 第一に発信者側にとって有利なシステムになりつつあるネットワーク社会では、サービス内容の制限等の制約を受けることが避けられない。

オ 「開かれた世界」は、ネットワークを商業目的で利用することが多いので業者側にとって便利であるが、消費者にとっ

ては好ましくない。

カ 「開かれた世界」では、必要な情報を瞬時に吸収できたり、盛んにメッセージを発する人が思わぬチャンスに巡り合うという利点もある。

二 次の①～⑤の各文の——線の部分の読み方を平仮名で書きなさい。

① 敵を威嚇する。

② 突如音があらわれる。

③ 大きな家に嫁ぐ。

④ 二んこんと讀される。

⑤ こわごわ触る。

三 次の①～⑤の各文の——線の部分を漢字で書きなさい。ただし、必要なものには送り仮名を付けること。

① キョクメンの打聞にあたる。

② 感覚キカンの検査。

③ 例外をノゾク。

④ 期日がノビル。

⑤ 子どもに夢をタクス。

④ 次の文章は、あさのあつこの「ラブ・レター」の一節である。小学五年生の折田愛美は、学校の帰りに友人のともかちゃんに誘われ学校の近所にある「お花ばたけ」という雑貨屋に行った。そして、木戸くんがラブレターを書くとき告白してレターセットを買ったともかちゃんにお金を借りて、愛美も好きな楽くんがラブレターを書くためのレターセットを買った。しかし、学校では寄り道は禁止されているうえに、「お花ばたけ」では六年生とぶつかったともかちゃんが言い争いをしてしまった。本文はその翌朝の場面である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

「折田さん」

くつ箱のところまで、名前を呼ばれた。振り向いたら、担任の石橋先生が職員室の窓から手拍きをしていた。

「ちよとよよかた。ちよとよと来てちよとよだ」

ひやつとした。石橋先生の声がひやつと冷たかったからだ。石橋先生は、太った女の先生で、音楽が得意だ。音楽の時間、きれいな声でいろんな歌をうたってくれる。優しい時は優しいけど、怒る時はすごく怒る。機嫌が良かったり悪かったり、日によってすごく変わる。

「石橋予備、今日は晴天ね」とか「今日は大変だよ。注意、注意」とか、みんな言っている。声の調子なんかもずいぶんちがう。今日は荒れ模様のような。声も細つきも寂しかった。嫌な予感がした。

職員室なんて、入るだけでもどきどきとする。いろんな先生が、じろつと見たり、「おはよう」と言ったり、黙ってお茶を飲んで

たりする。教室や廊下で会う先生たちとはちがって、少し怖い。

石橋先生の机は窓際にあった。窓からの光を背中に入れて、ともかちゃんが立っていた。下を向いていた。石橋先生の机の上には青色のあじさいが、一本、ガラスの花びんにいけてあった。

「今ね、折田さんを呼びに行こうと思ったのよ」

愛美がともかちゃんの横に立つと、石橋先生が早口でそう言った。

機嫌が悪い時、石橋先生は早口になるのだ。

「X」に言います。あつ X って意味わかる？ だいたいなことをずばり言うってことよ。折田さん」

「はい」

「昨日、学校の帰りに「お花ばたけ」に寄りましたね」

あつと思つた。やっぱりばれちゃったと思つた。昨日の六年生の顔が「A」うかんだ。でも、それだけだった。職員室に入ってきた時みたいに、どきどきはしなかった。だから、先生の顔を見て、

「はい」

と、返事した。先生の丸い顔の中で目が瞬いた。

「はい……折田さん、学校の帰りに寄り道してはだめでしょう。まして、お買い物なんかしたらだめよ。学校にお金もつてきてたの？」

「お金、わたしがもつてきたの、先生。愛美ちゃんに貸してあげました。わたしが、愛美ちゃんについてきてって頼んだから、貸してあげたの」

ともかちちゃんが言った。あこをあげて、小さい声で言った。

「相原さん、ひとに貸してあげるほど、たくさんお金もってきたの」

ともかちちゃんが頷く。先生はまあと言つて、また目を瞬かせた。

「相原さん、あなたね、五年生にもなつて良いことと悪いことの区別がつかないの。学校は不必要なお金をもつてくるところではないでしょ。買った物がしたかったら、一度、家に帰つてからにしなさい」

愛美はともかちちゃんの横顔を見ていた。ともかちちゃんの横顔は顔だけが、金色に光っていた。髪からの光にうぶ毛が光っているのだ。

「ともかちちゃん、かっこいいな」

と思つた。

ともかちちゃんは、先生に「わたしが、お金もってきたの」と言つた。嘘をつかなかつた。愛美のことをかばってくれた。先生に呼ばれて、机の横に立たされて、それでも「B」ほんとうのことを言つた。

かっこいいなと思う。ともかちちゃんて本物だと思つて思う。それから、ともかちちゃんのこと好きだなとも思つた。

栗くんを見た時みたいに、さわつてみたいとか話しかけられてときどきするのとはちがうけど、ともかちちゃんのこと好きだ。

「栗くん、わたし、きょう大発見しました。好きということですよ。好きっていろんな好きがあるのです。栗くんは、馬が好きですよ。ね、タイガースも好きですか。他に、どんな好きを知っていますか。」

栗くん、わたしは……」

「折田さん」

先生の声が出た。頭の中でラブレターの文が消えた。

「なに、（C）してるの。先生の言うこと聞いているの？ いいですか、今度から、学校の帰りに寄り道したらだめよ。特に、

「お花ばたけ」は、いろんなものを売つて、お金、ついつい使つちやうようなお店でしょう。よく考えるのよ。もう五年生なんだからね。それで、何を買ったの。お勉強道具？」

「レターセットです」

ともかちちゃんが答えた。小さいけれどはっきりした声だった。

「レターセットって……誰かに手紙を書くの？」

先生の目が愛美を見た。愛美は、はいと返事をした。先生はうーんと吸つて、目を寄せて、怖い顔をした。

「あのね、今、クラスの女子の中でお手紙のやりとりがはやってること、先生も気がついていました。あれは、お友だち同士でやりとりするの？ 男の子に手紙書いたりもするの？」

ともかちちゃんが黙る。愛美も黙る。

「答えられないの？ 二人とも」

先生の机の上で、ガラスの花びんがキラッと輝いた。透明なようで、薄い緑の色をしていた。緑の光がきれいだった。

「あり」

「なに、折田さん？」

「先生この花びんに似たの、「お花ばたけ」にもありました」

覚えている。入つてすぐの石の欄に、いろんな花びんが飾つてあつた。ライトの光があたるようになっていて、ピンクだの黄色

イ 喉をすることが愛美ともちやんの合図なのではないかと疑い、二人の様子をじっと探っている。

ウ 次から次へと話をはぐらかし、本当のことをなかなか話そうとしない愛美の態度にあきれかえっている。

エ 自分がしかられているにもかかわらず、大人へのあこがれを素直に口にする愛美の感受性に感心している。

オ 愛美ともちやんが反感を抱いているのを感じ、二人にどう話せばわかってもらえるのか悩んでいる。

五 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

昔、元正天皇の御時、美濃国に貧しく賤しき男ありけるが、老いたる父を持ちたり。この男、山の草木を取りて、その楮を得て、父を養ひけり。この父、朝夕あながちに酒を愛しほしがる。これによりて、男、なりひきこといふものを腰につけて、酒を沽る家に行きて、常にこれを乞ひて父を養ふ。ある時、山に入りて、薪を取らむとするに、苔深き石にすべりて、うつぶしにまろびたりけるに、酒の香のしければ、思はずにあやしくて、そのあたりを見るに、石の中より水の流れ出づる事あり。その色酒に似たり。汲みてなむるに、めでたき酒なり。嬉しく覚えて、その後、日々にこれを汲みて、あくまで父を養ふ。時に答この事を聞こじめして、雲龍三年九月に、その所へ行幸ありて、遊覧じけり。これすなはち、至孝のゆゑに、天神・地祖あはれみて、その徳をあらはすと感ぜさせ給ひて、後に美濃守になされにけり。その酒の出づる所をば、養老の滝とぞ申す。かつはこれによりて、同じ十月に、年号を養老とぞ改められける。

〔二十訓抄〕による

(注1) 美濃国……田国名。現在の岐阜県南部。

(注2) なりひきこ……ひょうたん。

(注3) 沽る……売る。

(注4) 行幸……天皇のお出かけ。

(注5) 天神・地祖……天の神と地の神。

(注6) 美濃守……美濃国の長官。

問1 —— 線④「すなはち」・⑤「ゆゑ」を現代仮名遣いに直し、平仮名で書きなさい。

問2 —— 線①「九月」・⑦「十一月」の月の異名の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 如月・御走 イ 弥生・童月 ウ 長月・霜月 エ 卯月・神無月 オ 睦月・水無月

問3 —— 線①「賤しき」・②「あながちに」の本文中の意味を、次のア～オの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

①「賤しき」

ア 身分が低い イ いじきたない ウ 上品な エ 不思議な オ 裕福な

②「あながちに」

ア 根回正しく イ たまに ウ 大量の エ いつも オ ひとえに

問4 —— 線⑥「後に美濃守になされにけり」とありますが、(一) 誰が(二) 誰の(三) どのような行為に感心して、美濃守にしたのですか。本文中から抜き出して答えなさい。ただし、「一」は一字、「二」は二字、「三」は二字とする。

問5 本文の内容と合致するものとして最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 男は、病気がちな父のために、毎日酒を造っては飲ませていた。

イ 男は、山でふとすることがきっかけで、酒のわき出る場所を見つけた。

ウ 男の父は、山の草木を取って、それを売って生計を立てていた。

エ 帝は、男が貴重な酒を見つけたので、その功績をたたえて美濃守に任命した。

オ 男は、山で見つけたわき木を利用し、おいしい酒を造った。